

OS、VMware、サードパーティ製アプリケーションへのパッチ配布に必要なものをすべて搭載

現在、IT 業界ではソフトウェアの更新は普通に行われており、これは解決済みの問題であると思われています。しかし、組織の多くはシステムを最新の状態に保つために今なお苦労しており、とりわけ、OS を超えたソフトウェアの更新に悪戦苦闘しています。データセンターは組織にとって不可欠な存在であるため、サーバーの包括的なパッチ管理をセキュリティ対策に取り入れて、サーバーの防御を強化し、データの安全な利用を確保して、企業の評判に傷が付かないようにする必要があります。

Ivanti Patch for Windows Servers は、データセンターの物理サーバーと仮想サーバーにまたがるパッチ管理を実現します。オンライン/オフラインのシステムを検出し、パッチの欠落がないか詳しく調べて、必要なパッチを適用します。次に、使いやすい単一ソリューションを使用して、Windows OS、仮想マシン (VM)、仮想テンプレート、VMware と緊密に統合されている ESXi ハイパーバイザー、さらには最も脆弱なサードパーティ製アプリケーションに至るまで、あらゆるものにパッチを適用します。この単一ソリューションで企業を保護することで、IT 部門は主要な事業目標に注力できるようになります。

IT 環境全体での容易なパッチ管理

脆弱性の 86% は、サードパーティ製アプリケーションに潜んでいるという報告があります¹。Patch for Windows Servers powered by Shavlik を使用すると、Microsoft Windows のパッチサポートを利用できます。さらに、iTunes[®]、Oracle[®] Java、Adobe[®] Flash[®]、Adobe Reader など、広く知られている多数のベンダーのパッチサポートも利用できます。

エージェントまたはエージェントレスで物理/仮想サーバーを容易に検出してパッチを適用します。

- エージェントレス機能を使用して物理/仮想サーバーの設置面積を削減します。
- 権限の追加やネットワーク構成を必要とする可能性があるオンプレミスのシステムではエージェントを使用します。

さらに、クラウド同期機能により、企業ネットワークへの定期的な接続がないシステムを管理できます。エージェントは、チェックインしてポリシーの更新をクラウドから受けることができます。オンラインになる前のテンプレートやスナップショットも更新できます。オフラインのテンプレートが常に最新の状態になれば、更新について心配せずに VM を配置することができます。

リスクを減らし、セキュリティを高めてコンプライアンスを徹底

組織を保護し、業界の法規制とビジネス要件に準拠するには、所有するシステムについてまず知る必要があります。Patch for Windows Servers は、全社規模で、接続されているシステムを検出してパッチの欠落がないか調べることで、組織がコンプライアンスを徹底できるように支援します。さらに、パッチの完全自動化により、重要なセキュリティパッチの配布時間を短縮できます。



Patch for Windows Servers はまた、最も脆弱なシステムや IT 環境の全体像を示すレポートを容易に表示できます。リスクに関する詳細情報を取得し、パッチコンプライアンスを迅速に検証し、他のグループやエグゼクティブとパッチステータスを共有できます。

パッチ配布プロセスを簡素化、自動化して時間とコストを削減

Patch for Windows Servers は、ソフトウェアの更新プロセスを月単位から分単位に加速します。インストールと構成を簡素化し、自動化された高性能な検出/導入機能を使用します。時間を浪費する手作業に頼って、ソフトウェアの更新パッケージを検出、定義、配布する必要がなくなります。

直感的に操作できる「単一画面」のインターフェイスにより、パッチ検出、ソフトウェア更新プログラムの配布、レポート作成など、パッチ配布プロセス全体をきめ細かく正確に制御できます。さらに、柔軟なスケジューリングとカスタマイズにより、利用可能なすべてのパッチを詳しく調べて自社の環境に絶えず導入することができます。

Patch for Windows Servers の優れた操作性と完全な自動化により、ユーザーとそのチームは、時間とリソースを削減して事業目標に注力することができます。

セキュリティと IT 運用のギャップの解消

Patch for Windows Servers が提供する拡張 API スタックは、セキュリティソリューション、セキュリティ情報イベント管理 (SIEM) ソリューション、脆弱性スキャナー、構成管理ツールに統合されています。セキュリティ製品の大規模エコシステムに固有のパッチ運用を図りつつ、セキュリティと IT 運用のギャップを解消できるように支援します。たとえば、パッチの次のパッチに最新の脆弱性評価を自動的にインポートしてテストすることができます。重要なポイントでセキュリティ/運用ツールと統合されているため、チームとソリューション全体の可視化が向上します。

機能

- 包括的なパッチ管理
 - OS/サードパーティ製アプリケーションへの自動パッチ配布
 - エージェントレスまたはエージェントによるパッチ配布
 - 検出から評価、更新プログラムの配布に至るまで自動化されたパッチプロセス管理
 - カスタムアプリケーションへのパッチ配布のサポート
 - 詳細なリポートオプション
- 優れた操作性
 - 直感的なインターフェイス
 - すべての資産を単一画面で管理
 - 包括的で柔軟なレポートとダッシュボード
 - カスタマイズ可能なレポートビュー
 - ネットワークエージェント
 - ネットワーク外管理用のクラウドベースのエージェント
 - ITScripts で実行される最も一般的な IT 機能
- 仮想化のサポート
 - オンライン/オフラインの仮想マシンへのパッチ配布
 - オンラインになる前のテンプレートへのパッチ配布
 - ロールバック改善のためにパッチ配布の前にスナップショットを取得
 - VMware vCenter から VM 情報を直接取得
 - ESXi ハイパーバイザー、Microsoft Hyper-V®、Citrix XenApp®、XenDesktop®、Presentation Server™ へのパッチ配布
- 柔軟なインフラストラクチャ
 - 役割ベースの管理のサポート
 - 多様な構成のサポート(ネットワーク接続/非接続のパッチ配布、複数の配布サーバー、大部分のネットワーク構成など)
 - セキュリティソリューションと一体化した拡張 API スタック
- 電源バックのアドオン
 - 電力を大量消費するマシンは使用時以外は電源オフ
 - 電源のオン/オフ、スリープの制御
 - 保守時間帯のマシン起動(重要なパッチ配布など)
 - マシンを管理、保守する ITScript の追加ライブラリ
 - すぐに利用可能な ITScript の使用、カスタマイズ、またはカスタムスクリプトのインポート
- 機能強化
 - Ivanti Patch for Windows Servers 向けのクラウドベースのアドオン
 - パッチ管理の強化と脆弱性修正のために Asset Intelligence を追加
 - ハードウェア/ソフトウェアインベントリの完全な可視化
 - 保証管理の強化
 - 「構成ドリフト」抑制の促進

i National Vulnerability Database



www.ivanti.co.jp



03-5226-5960



Contact-Japan@ivanti.com